



議 会 報 告

5 . 1 0 . 2 8

総務・文教常任委員会

# 報告項目

- 1 総務・文教常任委員会構成
- 2 常任委員会の調査・事務分掌
- 3 道外行政調査について
- 4 日本最古の国宝指定について
- 5 所管施設調査について
- 6 新庁舎建設の進捗状況について

# 1 総務・文教常任委員会の構成

委員長 阿部君枝

副委員長 今村則康

委員 員員 佐藤 藤藤 昇登  
委員 員員 佐藤 藤藤 和 徳

## 2 常任委員会の調査・事務分掌

総務部：総務、情報管財、企画、財政、  
税務、ジオパーク推進課  
危機対策室、滞納対策室

教育委員会：教育部、総務、社会教育課

その他：民生・経済部に属さない全ての  
事項

## 3 道外行政調査について

1 視察地：高知県**四万十町**、**土佐町**

2 視察目的：先進事例を視察、遠軽町に反映

3 調査・研究事項

(1) 四万十町：**移住定住促進の取り組み**

人口 15,538人（5年8月末）

(2) 土佐町：**部活動の地域移行、保小中高連携**

**ICT教育の取り組み**

人口 3,531人（5年9月末）

※ 遠軽町：人口 23,943人（H18）

現人口18,170人（5年9月末）

合併から19年、▲**5,773人**

## 第1 四万十町・土佐町の成果

行政調査した2町は、全国共通の課題となっている少子高齢化、人口減少が進む中、町の主要産業を活かし集落の維持再生に取り組んでいる。

四万十町の移住定住促進事業は、雇用の創出や移住者向けの住宅支援、子育て支援の実施により呼び込んでいる点と、地域おこし協力隊を積極的に活用し、任期終了後定住増に繋がっている実績など、自治体が一丸となって取り組んでいると感じた。

また、土佐町は、SDGsの視点をまちづくりに取り入れ、持続可能なまちづくりを目指す中、教育において、保小中高等の学校教育の充実と中山間地域における質の高い教育を目指している。

2町とも豊かな自然を生かし、町民一体となって取り組むまちづくりは大いに参考となり、今後の政策に積極的に反映させて参ります。

## 第2 2町研修・庁舎前の状況



## 4 日本最古の国宝指定について

- 1 発掘調査：H7～H23（H23：出土品重要文化財指定）
  - 2 **国宝答申：白滝遺跡群出土品**  
**4年11月18日文科省諮問機関、文化審議会が大臣に答申**
  - 3 **日本最古の国宝に指定（官報号外第134号の告示）6月27日**
    - (1) 石器：1514点、接合資料：451点、合計：1965点
    - (2) 黒曜石ジオツアー、人気のツアーとなっている。
  - 4 **国際黒曜石会議：7月3日～7月6日**
    - (1) 世界20か国から約110人が参加（リモート含む。）
    - (2) **アジアで初開催が遠軽町**
- ※ **黒曜石をアピールする絶好の機会**と捉え、今後もより一層**国内外に発信していけるよう、政策を展開**いたします。



# 第1 白滝遺跡群出土品その1

提供：遠軽町教育委員会 撮影者：佐藤雅彦氏



## 第2 白滝遺跡群出土品その2

提供：遠軽町教育委員会 撮影者：佐藤雅彦氏



## 5 所管施設調査について

- 1 目的：施設調査の**実態**を把握し、**分析**し検討して**問題点**を捉え、**改善・改革**して措置を講ずる。また、**対策・政策**を究明して**結論**を出す。
  - 2 施設調査月日：7月31日～8月1日
  - 3 施設名：白滝、丸瀬布、遠軽、南、東、安国、生田原小学校：**7か所**、白滝、南、遠軽、安国、生田原、丸瀬布中学校：**6か所**  
生田原学校給食、丸瀬布学校給食センター：**2か所**
- ※ **学びの保障**に**改善・改革**をして**展開**して参ります。

# 第1 施設調査全般（総括）について

各学校の校舎等について、適正に管理が行われていることを確認した。引き続き児童・生徒、教職員の安全を第一に施設の更新や修繕を行いながら維持管理に努めること。

次の点について、検討を求めたところであります。

- 1 校舎等の経年劣化により、特に雨漏りが多いと意見があった。建物だけの被害にとどまらず設備（ボイラー、電気設備など）や備品等に影響が広がる恐れがあるため、計画的な修繕を図るべき。
- 2 気候変動により、近年は猛暑日が多くなっていることから、命に関わることでもあるので、冷房設備等の導入を図るべき。  
また、暖房設備の経年劣化も進んでいることから計画的な更新を図るべき。
- 3 GIGAスクール構想が進められ、タブレット等の活用による授業が進められている中、通信環境障害が起こると意見があったことから、早急に原因を確認し、改善を図るべき。



# 第2 学校の現状と課題

丸瀬布中



生田原小



# 第3 学校の現状と課題

遠軽東小



遠軽南小



## 第4 学校の現状と課題

遠軽南小2



## 6 新庁舎建設の進捗状況について

### 想定スケジュール

- 1 基本構想：4年 3月
- 2 基本計画：4年 1 1月
- 3 **建設の是非の判断：5年 3月 9日**
- 4 基本設計・**実施設計**：5年 2月着手～**6年 2月末**
- 5 前庭整地工事：5年 7月から着手、今年度中に更地
- 6 建設工事：**6年 3月～7年**
- 7 供用開始：8年度



# 第1 建設位置を現庁舎の前庭に決定 (5.3.9)



## 第2 環境に優しく経済的な庁舎を目指して

冬期の調査結果において採取できる熱量が少ない結果となったことから、**下水熱の利用はおこなわない**こととし、夏期の調査を中止したため。**地中熱利用**を活用する。

※ 下水熱利用可能性調査業務委託料

変更契約： 1, 518千円

予算額： 3, 500千円

補正額：▲ 1, 982千円



# 第3 現庁舎前庭の整地について



# 第4 庁舎平面計画（1F）

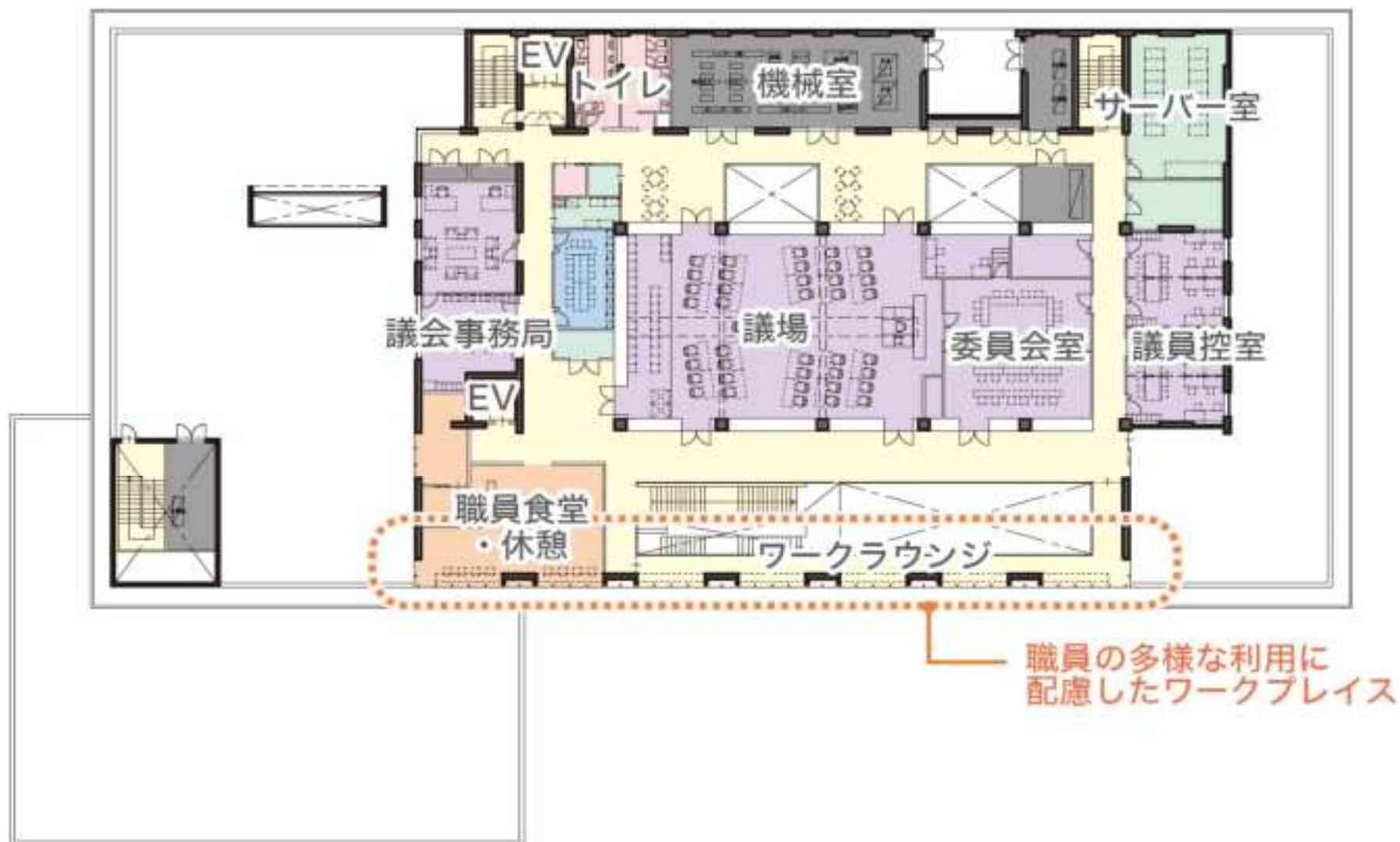




# 第5 庁舎平面計画（2F）



## 第6 庁舎平面計画（3F）

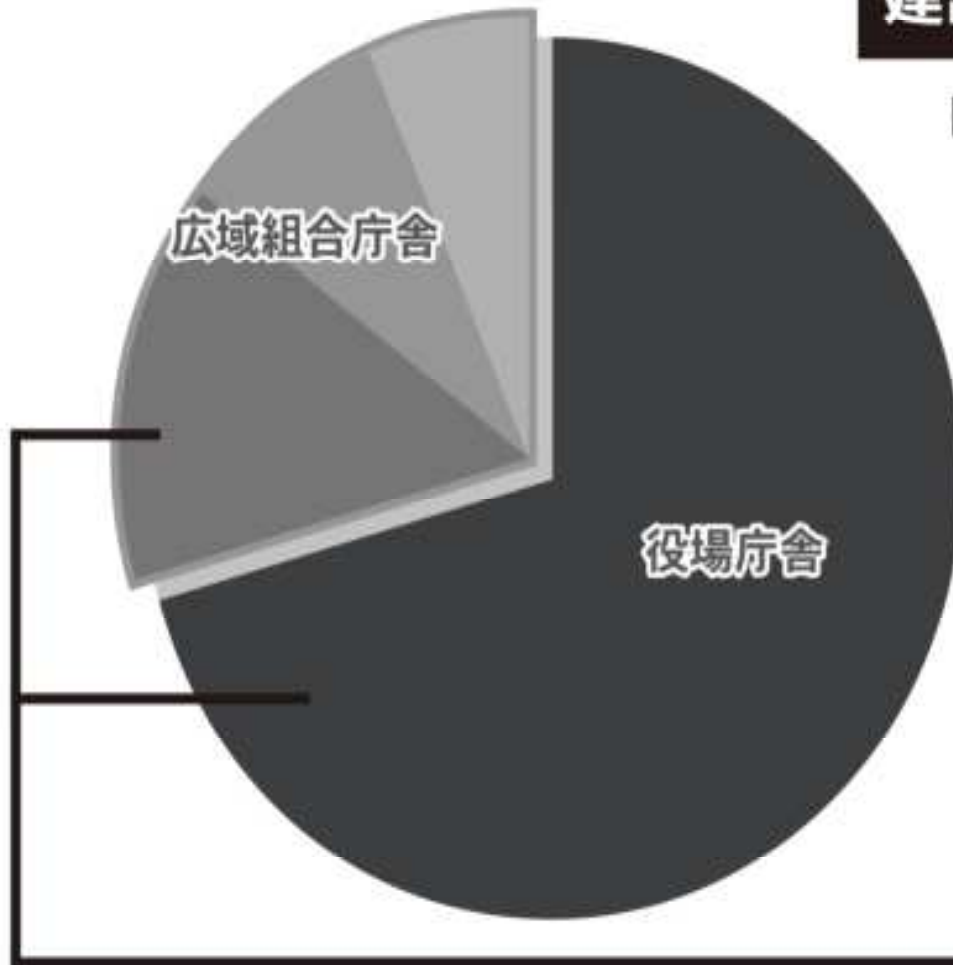


3階

## 第7 新庁舎建設事業費について

### 建設事業費

総事業費 **62億7,500万円**



【内訳】

■ 役場庁舎	44億4,400万円
○ 広域組合庁舎	18億3,100万円
■ 遠軽町	9億1,200万円
■ 湧別町	5億2,700万円
■ 佐呂間町	3億9,200万円



遠軽町負担 **53億5,600万円**

※100万円未満は端数処理しています。



# 遠軽の名所（瞰望岩）

